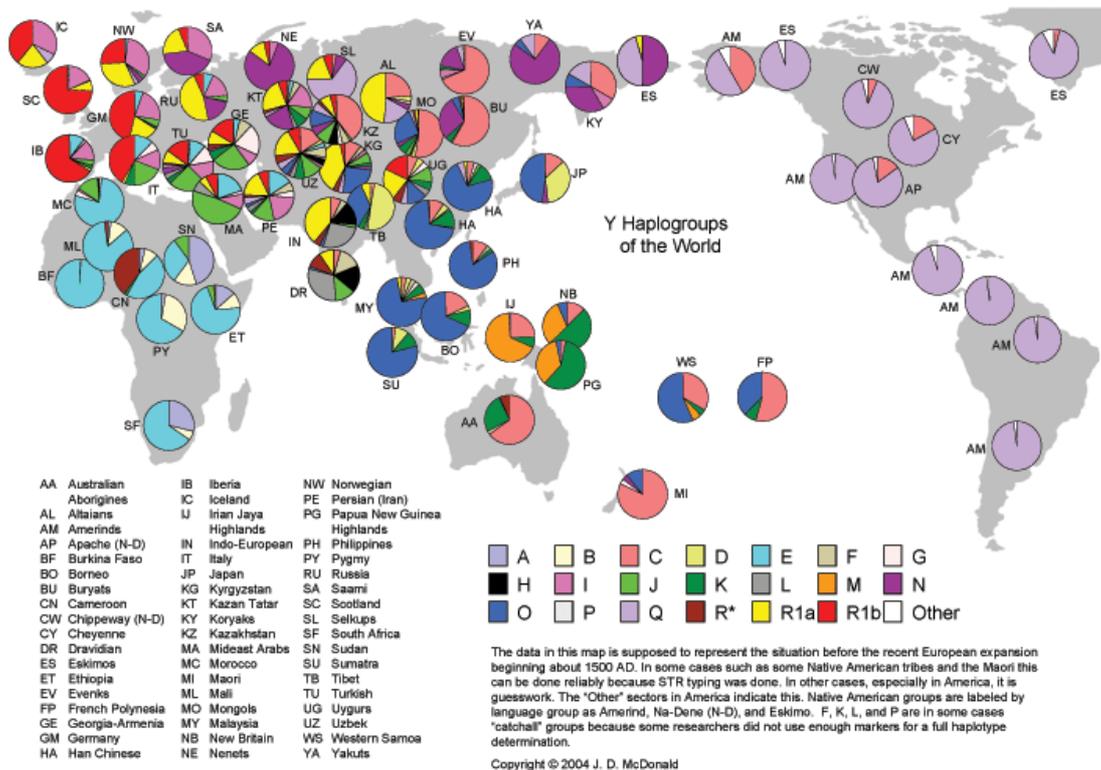


日本人特有の遺伝子とは？

島国であり人の出入りが少なかった日本人は、世界でも稀な古代血統とされる Y 遺伝子 D 系統を多く持つ人種である。



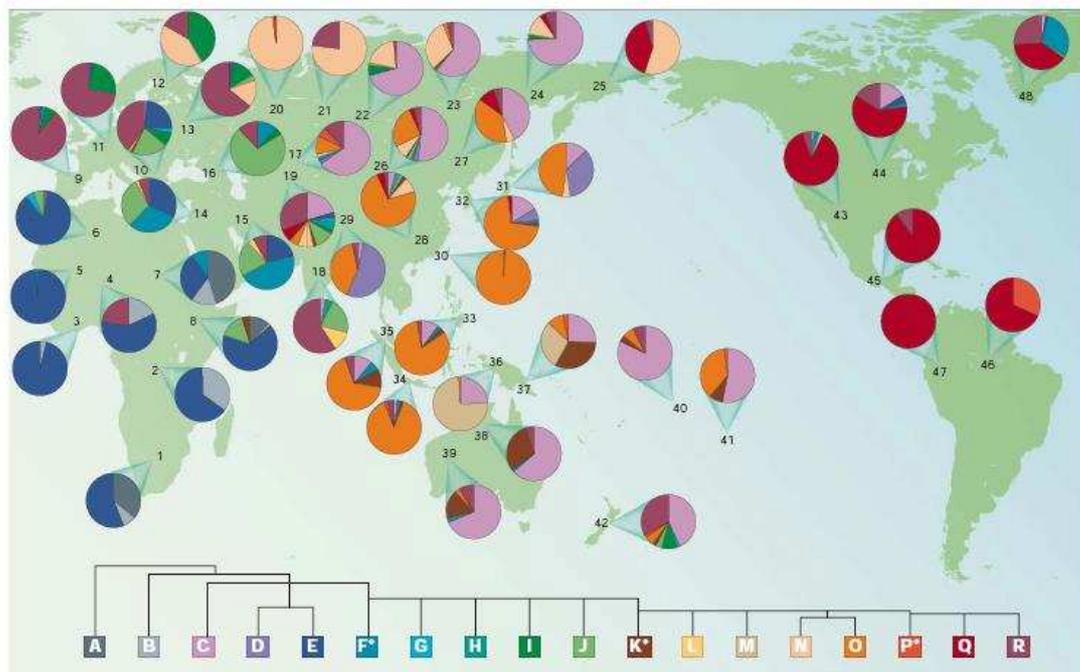
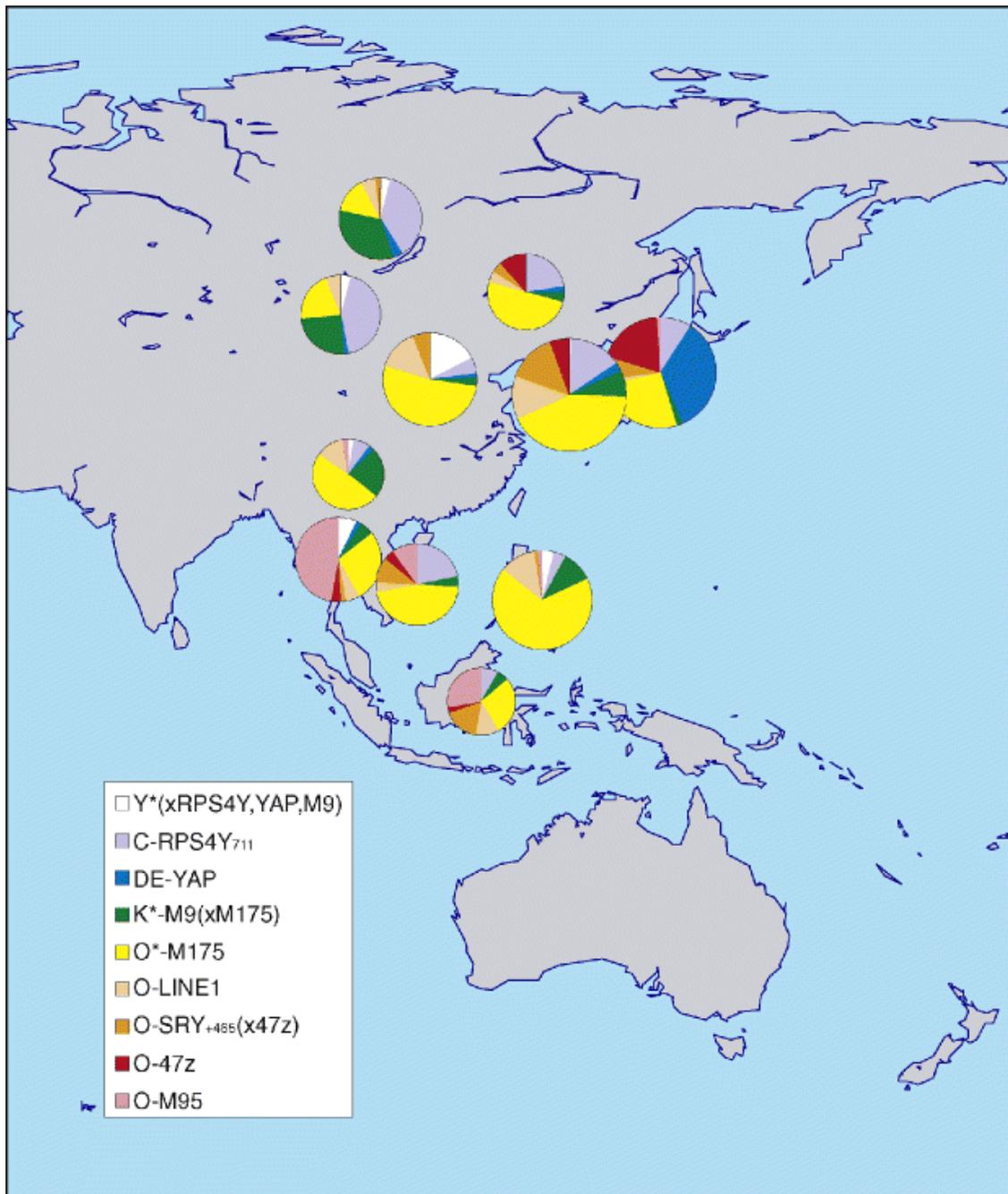


Figure 2 | **Global distribution of Y haplogroups.** Each circle represents a population sample with the frequency of the 18 main Y haplogroups (FIG. 3; shown here in simplified form) identified by the Y Chromosome Consortium (YCC) indicated by the coloured sectors. Note the general similarities between neighbouring populations but large differences between different parts of the world. Data are from published sources (as detailed below) that were chosen to maximize the geographical coverage, sample size and inclusion of relevant markers. In some cases, the limited number of markers could not identify all potential YCC haplogroups and the published data were supplemented by unpublished information from the authors or other studies. Despite this, some populations remain incompletely characterized and the chromosomes assigned here to the PARAGROUPS F*, K* and P* might be reassigned if further typing is carried out. Populations are numbered as follows: 1, !Kung⁶⁰; 2, Biaka Pygmies⁶⁰; 3, Bamileka⁶⁰; 4, Fall⁶⁰; 5, Senegalese¹¹²; 6, Berbers⁶⁰; 7, Ethiopians¹¹²; 8, Sudanese⁶¹; 9, Basques⁶¹; 10, Greeks⁶⁰; 11, Polish⁷⁹; 12, Saam⁶⁰; 13, Russians⁷³; 14, Lebanese¹¹³; 15, Iranians¹¹³; 16, Kazbegi (Georgia)¹¹³; 17, Kazaks¹¹³; 18, Punjabis⁷²; 19, Uzbeks⁷³; 20, Forest Nentsi⁷³; 21, Khants⁷³; 22, Eastern Evenks⁷³; 23, Buryats⁷³; 24, Evens⁷³; 25, Eskimos⁷³; 26, Mongolians⁷³; 27, Evenks⁷³; 28, Northern Han⁷³; 29, Tibetans^{78,114}; 30, Taiwanese⁶¹; 31, Japanese⁶¹; 32, Koreans¹¹³; 33, Filipinos¹¹⁵; 34, Javanese¹¹⁵; 35, Malaysians¹¹⁵; 36, West New Guineans (highlands)¹¹⁵; 37, Papua New Guineans (coast)¹¹⁵; 38, Australians (Arnhem)¹¹⁵; 39, Australians (Sandy Desert)¹¹⁵; 40, Cook Islanders¹¹⁵; 41, Tahitians¹¹⁶; 42, Maori¹¹⁷; 43, Navajos⁷⁸; 44, Cheyenne⁷⁸; 45, Mixtecs⁷⁸; 46, Makiritare⁷⁸; 47, Cayapa¹¹⁸; 48, Greenland Inuit⁸³.

日本人は、世界でも稀な古代血統とされる Y 遺伝子 D 系統を多く持つ人種



日本人はY染色体DNAのD系統を高頻度で持つ

東アジアでも孤立したD系統を持つ日本人の異質さが際立つ

日本人はY染色体DNAのD系統を高頻度で持つ事で有名である。世界的にもチベット人や中近東の人だけがこのDNAをもっているが、他の世界のどこにもほとんど存在しない。さらに日本のすぐ近くの朝鮮半島や中国人が南方系O系統であり、孤立したD系統を持つ日本人の異質さが際立って見える。

またこのD系統は、アジア人種よりも地中海沿岸や中東に広く分布するE系統の仲間であり、Y遺伝子の中でも非常に古い系統である。

東アジアの地域全体には南方系O系統が広く分布し、島国の日本や山岳のチベットにのみD系統が残ったと考えられる。

D2系統はアイヌ人88%、沖縄人56%、本土日本42~56%（参考までチベット33%）で、韓国ほぼ0%である。

アイヌには南方系O系統は無く、完全なD系統であり、本土日本人と沖縄人には南方系のOが混ざっている。それでも本土日本人のD系統は半数以上である。

つまり事実上アイヌと本土日本人は大差がなく、アイヌに南方系を足したのが本土日本人となる。

結論として日本人は基本的に共通して、アイヌ人~本土日本人~沖縄人までD系統(北方古モンゴロイド)がベースになっており、

日本人3集団が持つD系統を持たない韓国人は赤の他人と結論できる。



日本 D 系統の祖、縄文人

日本人の大部分を構成する Y 遺伝子 D 系統は縄文人特有の遺伝子である事が判明している。縄文人は北方古モンゴロイドに属しており、古モンゴロイドとは白人種から枝分かれしたばかりの古い黄色人種の事である。まだ寒冷地に対応していない為、人類学的には白人種との中間とされている。

古モンゴロイドは殆どが絶滅したが、海に守られている日本や山岳のチベットに残った。これが D 系統遺伝子としても反映されている。

日本人は世界でも数少ない D 系統を引き継ぐ人種であると同時に、数少ない古モンゴロイドの末裔である。

日本人は韓国人よりも二重瞼が多く立体的な容姿が多いが、南方系の遺伝子とは全く関係は無く、日本の原住民である北方古モンゴロイドの縄文人の血を継いでいるからである。

縄文人が北方系だという証拠として、彼らの直系の末裔であるアイヌ人が純粋 D 系統であるからである。